



骨材のアルカリシリカ反応性試験(モルタルバー法) 報告書

試験番号	VE-22-0585
受付日	2023年 2月24日
報告日	2023年10月 3日

大阪府吹田市鶴野町8丁目8番1号  
 一般財団法人 日本建築総合試験所  
 試験研究センター  
 センター長 瀬 野 浩  
 報告書発行責任者 山本 篤史  
 材料試験室長

依頼者	会社名	日本冶金工業株式会社 大江山製造所					
	所在地	京都府宮津市字須津413					
試験実施期間		2023年3月28日 ~ 同年9月26日					
試験材料	種類*	フェロニッケルスラグ FNS1.2(ナスサンド) ✓				[Redacted]	
	産地*	京都府宮津市字須津413 ✓					
	採取場所*	日本冶金工業株式会社 大江山製造所					
	採取日*	2023年2月21日					
	採取者*	宮津海陸運輸株式会社 坂根 隼					
	工事名*	_____					
	備考	2023年2月24日に当センターへ搬入された。					
セメントの全アルカリ		酸化カリウム(K <sub>2</sub> O): 0.42%、酸化ナトリウム(Na <sub>2</sub> O): 0.25%、全アルカリ(Na <sub>2</sub> Oeq): 0.53%					
試験方法		「JIS A 1146:2022 骨材のアルカリシリカ反応性試験方法(モルタルバー法)」とし、相対湿度 95%以上を確保した方法は、吸取紙による被覆とした。モルタルの配合は「JIS A 5011-2:2016 コンクリート用スラグ骨材-第2部:フェロニッケルスラグ骨材 6.4 アルカリシリカ反応性試験」によった。なお、試験は当センター 本部 コンクリート実験室にて行った。					
試験結果	供試体番号	膨張率 (%)				判定	
		2週	4週	8週	13週		26週
	1	0.004	0.005	0.006	0.006		0.006
	2	0.005	0.006	0.008	0.008		0.008
	3	0.005	0.006	0.008	0.008		0.008
平均膨張率	0.005	0.006	0.007	0.007	0.007		
平均膨張率と材齢の関係を図-1に、試験終了時における供試体の状況を写真-1に示す。							

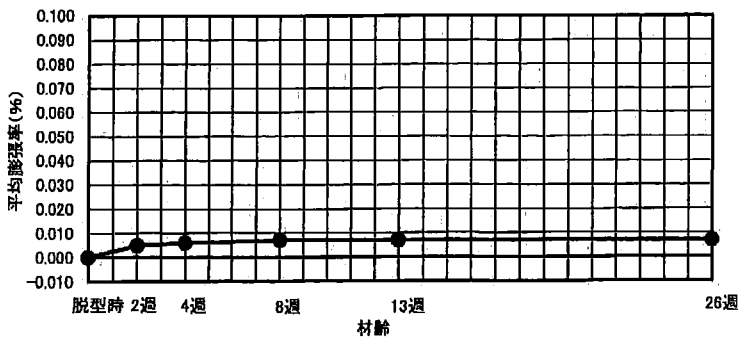


写真-1 供試体の状況(試験終了時)

担当 材料部 材料試験室 試験責任者 濑井 雄斗、試験担当者 丹羽 大地

\*:試験依頼者の情報による。

